



2026年5月12日

各 位

会 社 名 曙ブレーキ工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 長岡 宏
(コード番号：7238 東証プライム)
問合せ先 経理部長 小野崎 正史
(TEL. 03-5299-7629)

**(連結)営業外収益、(連結・個別)特別損失及び(連結・個別)繰延税金資産の計上
並びに2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2026年3月期決算において営業外収益(連結決算)、特別損失(連結決算・個別決算)及び繰延税金資産(連結決算・個別決算)をそれぞれ計上し、あわせて2026年2月12日付の「(連結)営業外収益の計上及び2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した2026年3月期通期連結業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結決算の営業外収益(為替差益)

昨今の為替相場の変動により、2026年3月期第4四半期の連結決算において12億円の為替差益を計上いたします。これは主に、当社の北米の連結子会社であるAkebono Brake Corporation(米国)が保有する円建ての関係会社短期借入金に対し発生したものであります。

なお、四半期ごとの為替差益及び為替差損は下の表のとおりです。

第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計
△3億円	△3億円	9億円	12億円	16億円

(注) △は為替差損

2. 連結決算の特別損失(事業構造改善費用)

当社の北米の連結子会社であるAkebono Brake Corporation(米国)の1工場化に係る費用として、事業構造改善費用17億円を計上いたします。

3. 個別決算の特別損失(貸倒引当金繰入額)

当社が保有する連結子会社に対する債権の回収可能性を見直し、貸倒引当金繰入額40億円を計上いたします。

Akebono Brake Corporation(米国) 36億円

曙ブレーキ山形製造株式会社 4億円

なお、この貸倒引当金繰入額は、個別決算のみで計上されるものであり連結決算では消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

4. 連結決算及び個別決算の繰延税金資産

当社は、2025年8月7日付の「中期経営計画の策定に関するお知らせ」で公表した中期経営計画を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討し、回収可能と判断した部分について繰延税金資産を計上することといたしました。

これに伴い、連結決算及び個別決算において法人税等調整額(△は利益)を△11億円、それぞれ計上いたします。

5. 業績予想の修正

(修正の内容)

2026年3月期通期 連結業績予想の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	159,400	5,000	4,000	300	1円11銭
今回修正予想 (B)	160,100	5,600	4,800	1,800	6円63銭
増減額 (B-A)	700	600	800	1,500	
増減率 (%)	0.4	12.0	20.0	500.0	
(参考) 前期実績 (2025年3月期)	161,672	3,124	△2,271	168	1円1銭

(修正の理由)

2026年2月12日付の「(連結)営業外収益の計上及び2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表の予想値に対して、売上高、営業利益及び経常利益は概ね前回予想どおりの見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益は、繰延税金資産の計上に伴う税金費用の減少により前回予想を上回る見込みとなりました。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上